

単元名 かたかなの ひろば

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 片仮名を書くとともに、文の中で使うことができる。  
 (2) 語と語や文と文の続き方に注意することができる。  
 (3) 片仮名を使った文を書こうとする。

### 標準的な展開例

02010114\_001

【教材名】かたかなの ひろば (上 P.77)

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 動物たちの行動や様子を想像して発表をする。</p> <p>★片仮名を使って、文を書こう。</p> <p>○教科書の挿絵を見て、動物たちが何をしているのか想像して発表する。</p> <p>○提示されている片仮名の言葉を読み、表している挿絵を見付ける。</p> <p>○片仮名の表記の決まりを確かめる。</p> <p>2 挿絵と片仮名で書かれた言葉を見て、片仮名の言葉を使った文を書く。</p> <p>○教科書 (P.77) の「れい」を参考にして、提示された片仮名を使って文を書く。</p> <p>○できた文をペアで見せ合う。</p> <p>○身の回りにある片仮名で表現できる言葉を探す。</p>	<p>・誰が、何をしているかを意識させながら、発表させる。</p> <p>・主語のない発言には、問い返すなどして文作りにつなげさせる。</p> <p>・挿絵を参考にして、正しく読めているかを確認させる。</p> <p>【評】片仮名で表記されている絵を探す活動を通して、片仮名に興味をもち、文作りに生かそうとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・教科書 (P.140) を使って、長音や拗音、促音濁音、半濁音の決まりを確認する。</p> <p>・教科書の〈れい〉の文が、「何が」「どうした」という文になっていることを確認し、語や文のつながりの整った文を書かせるようにする。</p> <p>【評】短文作りを通して、片仮名を正しく使って文を書く「知識・技能」を評価する。</p> <p>【評】絵を見て文を作る活動を通して、語や文の続き方に注意する「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・片仮名が正しく書けているか、文が整っているかの観点を示し、お互いに確認させる。</p> <p>【評】ペア交流の活動を通して、片仮名の決まりを意識して、文の中で使おうとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>【評】片仮名探しの活動を通して、身の回りにある片仮名を意識して探したり使ったりしようとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】